

《令和5年度 健康福祉部 組織目標》

様式2

◆目標管理者

部長	永池 孝志
理事	山本 大貴

◆部局の役割・目標像

健康・医療・保険・福祉の充実を図り、「健幸で安心して暮らせるまちづくり」を進めます。

- ◆「誰もが生きがいをもち、健やかで幸せに暮らせるまち」を目指し、「健幸都市づくり」を推進します。
 - ・市の総合政策として、「健幸都市づくり」に関して、部局横断的な取組を促進するとともに、産学公民連携を進めます。
- ◆地域共生社会の実現に向けて、包括的な相談支援体制を構築し、「地域力」のあるまちづくりを進めます。
 - ・多様で複合化した生活課題、支援ニーズにも対応できる包括的な相談支援体制の構築を進めるとともに、地域福祉の担い手の育成とそのネットワークの充実を図り、地域における支え合い活動を支援することで、「地域力」を生かした福祉のまちづくりを進めます。
- ◆生活安定への支援と暮らしの安心の確保に取り組みます。
 - ・経済的な困窮や複合的な課題を抱える人々等、市民の生活安定の危機に対して、適切な制度運用と生活安定・自立への支援を図ります。
- ◆障害のある人もない人も、共に生きる社会づくりを進めます。
 - ・障害のある人やない人、あるいは異なる障害のある人等の相互理解を深めながら、必要な生活支援を行うとともに、社会参加と自己実現の多様なニーズへの対応を図ります。
- ◆「誰もが健康で長生きできるまち草津」を目指し、世代に応じた切れ目のない健康づくりを進めます。
 - ・疾病の早期発見・早期治療や重症化予防、こころとからだの健康づくりの取組を進め、市民が自ら健康づくりに取り組むきっかけづくりにより、健康寿命の延伸を図ります。
- ◆医療保険制度の適正運用に努めます。
 - ・国民健康保険制度等について、市民(被保険者)が安心して利用できるよう適正な制度運用に努めます。また、特定健康診査など、被保険者の健康増進を図るための取組を進めます。
- ◆いきいきとした高齢社会の実現に向けた取組と、あんしんできる高齢期の生活への支援を進めます。
 - ・いきいきとした高齢社会の実現のため、健康寿命の延伸に向け、高齢期の健康づくりや介護予防、社会参加を促進する取組を進めます。
 - ・高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、地域包括ケアシステムを推進し、介護サービスの充実や医療と介護の連携推進、地域での支え合いの体制づくり、認知症施策への取組を進めます。

◆職員数および当初予算規模

所属	職員数(人)				当初予算規模(千円)		
	正規	再任用	会計年度	合計	歳出 (職員費を除く)	特定財源	一般財源
経営層(部長、副部長)	5	0	0	5	-	-	-
健康福祉政策課	6	0	3	9	134,872	26,745	108,127
人とくらしのサポートセンター	10	2	4	16	74,099	54,756	19,343
生活支援課	15	0	7	22	1,867,135	1,373,025	494,110
障害福祉課	12	0	10	22	3,417,554	2,343,136	1,074,418
健康増進課	11	1	13	25	1,034,056	324,730	709,326
長寿いきがい課	15	0	6	21	963,883	647,849	316,034
介護保険課	9	1	25	35	10,695,106	9,047,973	1,647,133
保険年金課	12	0	22	34	16,662,118	10,659,329	6,002,789
合計	95	4	90	189	34,848,823	24,477,543	10,371,280

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)
<p>1. <健幸> 高齢化の更なる進展を見据え、誰もが生きがいをもち、健やかで幸せに暮らせるまち「健幸都市くさつ」の実現を目指し、第6次草津市総合計画 第1期基本計画および草津市健幸都市づくり基本方針に基づき、市の総合政策として、「健幸都市づくり」を推進し、部局横断的な取組や産学公民連携を促進していく必要があります。</p>

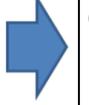
2. 重点目標
<p>① 健幸都市くさつの実現に向け、市民、地域、大学、企業、団体などあらゆる主体と連携し、健幸都市づくりの取組を総合的に実施していきます。</p>

3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R5 主な事業
<p>【取組】 健幸都市づくりの関連する各事業について、「草津市健幸都市づくり推進委員会」において進捗管理を行うとともに、市の総合政策として部局横断的な取組を進めます。(事業費 18,989千円)</p> <p>①健幸フェアの開催、健幸フェスタ2023の共催 (謎解きウォーキングイベントの実施) ②「健幸都市くさつ」の広報・啓発(動画・横断幕・カレンダー等) ③立命館大学との共同研究事業の推進 ④健幸関連事業における産学公民連携の検討・推進 ⑤くさつ健幸ステーション・健幸都市賛同事業所との連携強化 ⑥庁内横断的な健幸都市づくり推進チームの運営</p> <p>【成果目標】 ・「健幸(=生きがいをもち、健やかで幸せであること)に暮らせている」と思う市民の割合の増加 51.0% (【参考】令和4年度(健幸なまちであると思う市民の割合) 49.7%) ・市が開催または出展する健幸関連イベントにおけるブース来訪者数 1.8千人以上(令和4年度 1.7千人)</p>	<p>分野:健康 基本方針:市民の健康づくり 施策:市民の健康づくり支援</p>	<p>②地域の支え合い推進プロジェクト</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)
<p>2</p> <p><地域福祉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化や小世帯化、身近な地域社会の変化などにより、地域の中での社会的なつながりが希薄化し、地域コミュニティの持つ「地域力」が低下しています。住み慣れた地域で誰もが安心して暮らすことができるよう、第4期草津市地域福祉計画に基づき、「助け合い・支えあい」を未来につなげるまち ～いつまでも健幸で地域力のあるまち草津を目指して～」を理念として、地域共生社会の実現に向けて取り組んでいく必要があります。 ・昨今の新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰等の社会情勢の影響、生活上の課題の複雑化・複合化等によって、市民の間に生活の安定を確保することが困難な状況が生じています。 ・課題を抱える人・世帯の把握に努め、生活保護制度、生活困窮者自立支援事業、就労支援等により総合的に支援する必要があります。



2. 重点目標
<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域共生社会の実現」に向け、住民が世代を超えてつながり、地域の中で活動する人を広げ、地域福祉活動の充実を図ります。 ・福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」において、生活困窮者、複合的な生活課題を抱える人、ひきこもりや生きづらさを感じている人・世帯の早期発見に努め、様々な福祉課題に対して、総合的な相談・支援を行います。 ・健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立生活の確立に向けた援助を行います。 ・介護・障害。子ども・生活困窮の各分野における支援だけでは対応しきれないような住民の複雑化・複合化した支援ニーズや狭間の課題にも対応できる包括的な相談支援体制を構築します。



3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R5 主な事業
<p>②</p> <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動の中心的な役割を担う市社会福祉協議会を支援し、各種地域福祉関連事業を推進するとともに、担い手の育成を支援します。 ・福祉活動推進員育成事業(福祉教養大学・大学院等の開催) ・ボランティア活動支援事業(ボランティア団体への支援、ボランティアの連携強化、活動の活性化支援等) <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動の担い手の育成(福祉教養大学のアンケートにおいて、今後の活動につながると回答した卒業生の割合 7割以上(令和4年度 71.4%)) ・ボランティアセンター登録者数 6,500人(令和5年3月 5,841人) 	<p>分野:地域福祉 基本方針:「地域力」のあるまちづくり 施策:地域福祉の担い手の育成と活躍の促進 施策:地域福祉を支えるネットワークづくり</p>	
<p>③</p> <p>【取組】</p> <p>福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」において、生活困窮や多様で複合的な悩み相談に対応するとともに、支援関係機関との連携を密にし、生活困窮者自立支援事業を効果的に活用することで支援の充実を図ります。</p> <p>また、ひきこもりや生きづらさを感じている人への相談・支援を行い、ニーズに応じた支援制度へとつないでいきます。</p> <p>(生活困窮者自立支援事業費 28,067千円) (内、住居確保給付金 8,226千円)</p> <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人とくらしのサポートセンター」による相談支援 698件以上(令和4年度実績 698件)(実件数) ・ひきこもり(ニートを含む)の相談件数 43件以上(令和4年度実績 43件)(実件数) ・ひきこもり者(ニートを含む)への訪問相談回数 20件以上(令和4年度実績 20件)(延べ件数) 	<p>分野:地域福祉 基本方針:福祉の総合的な相談・支援の充実 施策:セーフティネットの充実</p>	
<p>④</p> <p>【取組】</p> <p>生活に困窮する方に対して、困窮の程度に応じ、生活保護を適切に適用します。(生活保護事業費 1,828,604千円)</p> <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に困窮する方に対して、生活の安定を保障するとともに、就労支援などの自立支援を行います。 ・就労による生活保護廃止(自立)件数を20人(令和4年度実績18人)とします。 	<p>分野:地域福祉 基本方針:福祉の総合的な相談・支援の充実 施策:セーフティネットの充実</p>	
<p>⑤</p> <p>【取組】</p> <p>重層的支援体制整備事業として、既存の相談支援と地域づくり支援に加え、各支援を支える多機関協働事業、参加支援事業、アウトリーチ事業を一体的に取り組みます。(多機関協働等事業費 16,071千円)</p> <p>【成果目標】</p> <p>多機関協働事業 コーディネート会議開催数 20回</p>	<p>分野:地域福祉 基本方針:福祉の総合的な相談・支援の充実 施策:セーフティネットの充実</p>	<p>②地域の支え合い推進プロジェクト</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
3	<p><障害福祉> 平成31年4月から「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」が施行されたことから、障害のある人の暮らしを支えるサービスのさらなる充実を図るとともに、「障害」と「障害のある人」への理解の促進と尊厳の保持に努め、社会のあらゆるバリアを無くし、福祉のまちづくりのさらなる推進に取り組む必要があります。</p>



2. 重点目標	
3	<p>・「障害のある人もない人も、誰もがいきいきと輝けるまち」の実現のため、「障害」と「障害のある人」への理解促進の啓発を行うとともに、障害のある人が安心して暮らすことができるための総合的な障害者施策を実施します。</p> <p>・障害福祉サービスの担い手となる、障害福祉施設・サービス事業所等の社会資源拡充のための取組を進めます。</p> <p>③ 障害者施策の総合的計画である「第2次草津市障害者計画」ならびに施策に関する基本的な計画である「第6期草津市障害福祉計画・第2期草津市障害児福祉計画」については、その計画期間を令和5年度までとしていることから、各障害者団体等へのヒアリング調査や現計画の分析および課題の整理などを行い、本市にふさわしい障害者施策のあり方を検討し、令和6年度からの「第3次草津市障害者計画」および「第7期草津市障害福祉計画・第3期草津市障害児福祉計画」を策定します。</p>



3. 目標達成のための取組と成果目標		総合計画上の位置づけ	R5 主な事業
6	<p>【取組】 障害者理解促進のために、障害者差別解消法に関する事項や障害の特性を理解し対応する方法等について、新規職員向けに研修(5月)を行うとともに、障害者施策について民生委員、ケアマネジャー等の求めに応じて研修を行います。 また、障害者週間(12月3日～9日)に街頭啓発、パネル設置、広報での特集記事掲載を行います。</p> <p>【成果目標】 理解促進啓発事業 6回実施(令和4年度実績 5回)</p>	<p>分野:障害福祉 基本方針:共に生きる社会の推進 施策:障害と障害のある人への理解促進と尊厳の保持</p>	
7	<p>【取組】 障害者施策の総合的計画である「第2次草津市障害者計画」ならびに施策に関する基本的な計画である「第6期草津市障害福祉計画・第2期草津市障害児福祉計画」については、その計画期間を令和5年度までとしていることから、各障害者団体等へのヒアリング調査や現計画の分析および課題の整理などを行い、本市にふさわしい障害者施策のあり方を検討し、令和6年度からの「第3次草津市障害者計画」および「第7期草津市障害福祉計画・第3期草津市障害児福祉計画」を策定します。 (事業費 3,085千円)</p> <p>⑦ 相談支援体制の充実・強化を図るために設置した基幹相談支援センターを中心に、引き続き新たな相談支援事業所の指定勧奨を行いつつ、各相談支援事業所の相談支援員の質の向上を図ります。 (事業費12,906千円)</p> <p>【成果目標】 ・「第3次草津市障害者計画」および「第7期草津市障害福祉計画・第3期草津市障害児福祉計画」の策定 ・新規指定件数 2件(令和4年度実績 2件) ・相談支援員養成研修 2回</p>	<p>分野:障害福祉 基本方針:共に生きる社会の推進 施策:障害のある人の暮らしを支えるサービス基盤の充実</p>	②地域の支え合い推進プロジェクト
8	<p>【取組】 障害福祉の支援施策として、 ①日常生活用具給付事業にて紙おむつの給付を受けている者の属する世帯、②草津市在宅心身障害者(児)紙おむつ購入費助成事業の規定による購入費用の助成を受けている者の属する世帯、③市内に住所を有し、在宅で腹膜透析を実施している者の属する世帯に対して、焼却ごみ袋の一定枚数無料配布を行います。 (事業費223千円)</p> <p>⑧</p> <p>【成果目標】 焼却ごみ袋の配布対象世帯に対して申請勧奨を行い、必要とされる方に焼却ごみ袋の配布を行います。(申請勧奨予定件数 218件)</p>	<p>分野:障害福祉 基本方針:共に生きる社会の推進 施策:障害のある人の暮らしを支えるサービス基盤の充実</p>	④暮らしの安全・安心向上プロジェクト

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R5 主な事業
<p>4</p> <p><健康> ・高齢化の進展や生活習慣病の増加等を背景に、健康上の問題で日常生活が制限されことなく生活できる期間(健康寿命)の延伸が必要となっています。</p> <p>・健康くさつ21(第2次)に基づき、「誰もが健康で長生きできるまち草津」を目指し、市民一人ひとりが健康づくりに関心を持ち、自らが健康づくりに取り組むことが重要です。</p> <p>・第3次草津市食育推進計画に基づき、「ココロ豊かにカラダ元気に食が進む笑顔があふれるまち草津」を目指し、産学官民が連携して食を通じた健康づくりに取り組む必要があります。</p> <p>・がんは死亡原因の第一位になっており、がん検診による早期発見・早期治療が重要ですが、受診率が伸び悩んでいる状況です。</p> <p>・様々な感染症やがん等の予防のため、必要な予防接種の積極的勧奨を行うことで、望ましい時期に接種が行えるよう支援することが求められています。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の蔓延による経済悪化や生活環境の変化等の影響を受け、心身の不調をきたす人が増えることが懸念されており、心身の健康づくりの取り組みを強化する必要があります。</p>	<p>④</p> <p>・乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じた健康増進の取組を推進します。</p> <p>・市民の健康づくりを推進するため、様々な地域団体、関係機関との連携を強化・拡大し、地域や市民との交流や参加を通して健康啓発や生活習慣の改善につながる取り組みを行います。</p> <p>・かけがえのない“いのち”を大切にできる社会の実現を目指し、市民、行政、関係機関、関係団体等が連携を図りつつ、総合的な自殺対策を推進します。</p> <p>・地域特性を踏まえた地域の主体的な健康づくりを推進します。</p> <p>⑤</p> <p>疾病の予防と早期発見のため、疾病に対する正しい理解の普及と予防の啓発を行い、がん検診受診や予防接種についての勧奨について取り組みを進めます。</p>	<p>⑨</p> <p>【取組】 ・働く世代に対して、糖尿病予防のための健康づくりの意識醸成・向上のため、健康増進・健康づくりに関する多目的イベントを実施します。</p> <p>【成果目標】 三師会等と連携したイベントで、生活習慣について考えるきっかけになった人(イベント参加者のアンケート) 100%</p> <p>⑩</p> <p>【取組】 市民一人ひとりが心身の健康づくりへの関心を高め、心身の不調に気づき行動できるよう、ゲートキーパーの養成に取り組むとともに、相談支援のネットワークを構築します。</p> <p>【成果目標】 ・市民対象ゲートキーパー研修のアンケートで「気づいて行動に移すことができる」と回答した人数 50人以上(令和4年度実績 39人/46人中)</p> <p>・職員等対象ゲートキーパー研修の受講者数 50人以上(令和4年度実績 104人)</p> <p>⑪</p> <p>【取組】 各学区の健康データをもとに、地域の特性や健康課題について各まちづくり協議会や民間企業等と共有を図り、生活習慣病予防や介護予防に向けた地域の主体的な健康づくりを推進します。</p> <p>【成果目標】 地域の特性に応じた健康づくりを進めることができた学区数 14学区(令和4年度実績 14学区)</p> <p>⑫</p> <p>【取組】 HPVワクチンの正しい情報提供、接種勧奨を行い、接種率向上を図るとともに、接種機会を逃した対象者への接種を行います。</p> <p>【成果目標】 HPVワクチン定期接種回数 1,200回(令和4年度実績 1,165回) 接種機会を逃した対象者の接種回数 1,200回(令和4年度実績 1,374回)</p> <p>⑬</p> <p>【取組】 ・ナッジ理論を取り入れ、がん検診個別勧奨通知と大腸がん検査キット送付を行います。</p> <p>・子宮がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付し、勧奨通知、再勧奨通知を行います。</p> <p>・集団検診実施回数を拡大し、web予約を導入します。</p> <p>・がん検診啓発動画を作成し、映画館で放映し、またSNSを活用した啓発を行います。</p> <p>【成果目標】 胃がん検診受診率 3.1%(令和4年度実績 2.8%) 子宮頸がん検診受診率 15.8%(令和4年度実績 16.4%) 乳がん検診受診率 13.8%(令和4年度実績 13.3%) 肺がん・結核検診受診率 8.9%(令和4年度実績 8.1%) 大腸がん検診受診率 7.8%(令和4年度実績 7.0%)</p>	<p>分野:健康 基本方針:市民の健康づくり 施策:市民の健康づくり支援</p> <p>分野:健康 基本方針:市民の健康づくり 施策:市民の健康づくり支援</p> <p>分野:健康 基本方針:市民の健康づくり 施策:市民の健康づくり支援</p> <p>分野:健康 基本方針:市民の健康づくり 施策:疾病予防対策の強化</p> <p>分野:健康 基本方針:市民の健康づくり 施策:疾病予防対策の強化</p>	<p>②地域の支え合い推進プロジェクト</p> <p>②地域の支え合い推進プロジェクト</p>
<p>5</p> <p>新型コロナウイルスワクチンについては、予防接種法に基づき、住民への円滑な接種を実施するため、必要な体制確保が市町等に求められています。</p>	<p>⑥</p> <p>新型コロナウイルス感染症罹患による重症化リスクの高い高齢者・基礎疾患のある方や、その他接種を希望する全ての方へ新型コロナワクチン接種を行い、死亡者や重症者の発生をできる限り減らします。</p>	<p>⑭</p> <p>【取組】 特例臨時接種の期間が令和6年3月末まで延長されたことに伴い、新型コロナウイルスワクチン接種について、医療従事者や関係機関の協力を得ながら、市が実施する集団接種と各医療機関による個別接種を併用し、市民の皆様が安全安心に接種いただける接種・運営体制の構築を図ります。</p> <p>【成果目標】 高齢者や基礎疾患のある方への接種率70%の達成</p>	<p>分野:健康 基本方針:市民の健康づくり 施策:疾病予防対策の強化</p>	

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R5 主な事業
<p><長寿・介護> ・高齢化が進展する中、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができるよう、地域において高齢者の生活を支える医療・介護・予防・住まいが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の推進や介護予防・地域づくりの推進に取り組む必要があります。</p> <p>・認知症の人の数は年々増加し、団塊の世代が75歳以上となる2025年には高齢者の約5人に1人が認知症と見込まれています。認知症は、多くの人にとって身近なものとなっており、認知症があっても安心して生活できるまちづくりが求められています。</p> <p>・介護を必要とする高齢者が増加する中、介護者の負担軽減が図られるとともに、利用者に適正なサービスが提供される持続可能な制度運用が求められています。</p>	<p>⑦ すべての市民が人として尊重され、一人ひとりがいきいきと輝き、安心して暮らすことのできるまちの実現に向けて、草津あんしんいきいきプランに基づく各種施策の取組を進めます。</p>	<p>【取組】 学識経験者や医療関係者、福祉関係者、公募市民等で構成する草津市あんしんいきいきプラン委員会を開催し、これまでの取組を総括し、将来の高齢社会に適切に対応する草津あんしんいきいきプラン第9期計画(計画期間:令和6年~8年)を策定します。</p> <p>【成果目標】 ・草津市あんしんいきいきプラン委員会の開催 5回(令和4年度実績 3回) ・草津あんしんいきいきプラン第9期計画の策定</p>	<p>分野:長寿・介護 基本方針:あんしんできる高齢期の生活への支援 施策:地域包括ケアシステムの深化・推進</p>	
	<p>⑧ 草津市認知症があっても安心なまちづくり条例および草津市認知症施策アクション・プランに基づき、「認知症の正しい知識と理解を深めるための普及・啓発の推進」、「認知症の人を含む誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進」に重点をおき各種施策の取組を進めます。</p>	<p>【取組】 学識経験者や医療関係者、福祉関係者、公募市民等で構成する草津市認知症施策推進会議を開催し、これまでの取組を総括し、今後ますますの増加が見込まれる認知症に対応する草津市認知症施策アクション・プラン第4期計画(計画期間:令和6年~8年)を策定します。</p> <p>【成果目標】 ・草津市認知症施策推進会議の開催 4回(令和4年度実績 2回) ・草津市認知症施策アクション・プラン第4期計画の策定</p>	<p>分野:長寿・介護 基本方針:あんしんできる高齢期の生活への支援 施策:認知症施策の推進</p>	
	<p>⑨ 健康寿命の延伸を目指し、高齢者が自ら有する能力を生かして社会参加を通じた介護予防や、疾病予防・重度化防止などの健康づくりに取り組むことができるよう、保健事業と介護予防事業の一体的な取組を進めます。</p> <p>また、地域サロンやいきいき百歳体操などの住民主体による活動の展開・充実を図り、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりを推進します。</p>	<p>【取組】 ・生活機能の低下やフレイル状態が進むことを防止するため、感染予防対策を図りつつ、身近な地域で社会参加・つながりを通じた介護予防活動ができるよう、地域サロンやいきいき百歳体操等の開催を支援します。また、こうした地域活動に専門職が関わり、フレイル予防に取り組む機会を確保します。 ・eスポーツを通じた介護予防活動の普及・啓発を図るため、市内イベントでのブース出展や運営アドバイザーの派遣に取り組みます。</p> <p>【成果目標】 ・フレイル予防にかかる専門職の派遣 34回(令和4年度実績 39回) ・eスポーツ運営アドバイザーの派遣 15回</p>	<p>分野:長寿・介護 基本方針:いきいきとした高齢社会の実現 施策:高齢者の健康づくり・介護予防の推進</p>	②地域の支え合い推進プロジェクト
	<p>⑩ 地域における支え合いの体制構築に向け、行政、地域住民、市社会福祉協議会、地域包括支援センター、その他関係する団体との協働により地域づくりを推進します。</p>	<p>【取組】 生活支援体制整備事業促進システムを導入し、高齢者サロンや地域福祉活動等、地域資源の把握、整理を行います。データベース化した地域資源から地区分析を行います。</p> <p>【成果目標】 地区分析を行った学区 14学区</p> <p>【取組】 地域の関係者や専門職による地域ケア個別会議や地域ケア推進会議を通して、個別事例から地域課題を抽出し、課題解決に向けた対策や取組を検討します。</p> <p>【成果目標】 地域ケア会議における検討事例数 120事例(令和元年度 118事例、令和2年度 140事例、令和3年度 147事例、令和4年度 128事例) (草津あんしんいきいきプラン第8期計画 令和5年までの目標 累計400事例)</p>	<p>分野:長寿・介護 基本方針:あんしんできる高齢期の生活への支援 施策:地域包括ケアシステムの深化・推進</p>	
	<p>⑪ 介護が必要になっても住み慣れた地域で生活が維持できるよう、また、介護者の負担減に向け介護保険サービスや各種支援制度を展開・充実するため、草津あんしんいきいきプラン第8期計画(草津市高齢者福祉計画・草津市介護保険事業計画)に基づく施策を推進します。</p>	<p>【取組】 草津あんしんいきいきプラン第8期計画に基づき、介護サービスの適切な確保を図るとともに、不適切な給付を削減し、介護保険制度の信頼感を高めます。また、要介護認定事務に訪問調査システムを導入し、効率的に調査を行うことにより、行政サービスの向上を図ります。</p> <p>【成果目標】 介護給付適正化主要5事業の継続実施 ・認定調査状況チェック…全件チェック (令和4年度実績 全件チェック3,855件) ・ケアプランの点検…60件/年度(令和4年度実績 61件) ・住宅改修等の点検…全件点検(令和4年度実績 全件点検 694件) ・「医療情報との突合」・「縦覧点検」…全件点検 (令和4年度実績 全件点検 審査支払手数料件数 138,970件) ・介護給付費通知…任意月の給付実績がある被保険者に全件通知 (令和4年度実績 令和4年4月給付者4,033人全件通知)</p> <p>【取組】 令和5年度の介護保険制度改正に対応し、適正に制度運営を行える基盤づくりに努めます。</p> <p>【成果目標】 令和6~8年度までの介護保険料の決定</p> <p>【取組】 令和5年10月1日から焼却ごみ袋の取り扱いが変更される一方で、すっきりさわやかサービス事業(紙おむつ支給)を利用されている方については、紙おむつ等に係るごみの減量が困難であるため、福祉支援施策として、一定枚数分の焼却ごみ袋相当額のサービス利用割引券を配布し、経済的負担の軽減を図ります。</p> <p>【成果目標】 すっきりさわやかサービス事業利用者全員に金券を配布し、利用者の経済的負担の軽減を図る。</p>	<p>分野:長寿・介護 基本方針:あんしんできる高齢期の生活への支援 施策:介護保険制度の適正運用</p>	⑤行財政マネジメント
<p>分野:長寿・介護 基本方針:あんしんできる高齢期の生活への支援 施策:介護サービスの充実</p>	④暮らしの安全・安心向上プロジェクト			

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R5 主な事業
<p>7 <保険> ・高齢化の進展や医療の高度化に加え、保険料の負担能力が低い方々の加入割合が高いなど、国民健康保険制度の運営は厳しい状況です。</p> <p>・保険財政の適正運営と被保険者負担の上昇の抑制を図るため、健康の保持・増進と医療費の適正化に努める必要があります。</p> <p>・草津市国民健康保険保健事業推進計画のデータ分析結果では、糖尿病の合併症である腎不全に係る医療費の割合が高くなっていることから、特定健康診査および特定保健指導による疾病の予防や早期発見、糖尿病を含む生活習慣病の重症化予防に取り組む必要があります。</p>	<p>⑫ 健康の保持・増進と医療費の適正化に向けて生活習慣病の早期発見や予防を図るため、特定健康診査の受診率の向上等に向けた取組を行います。</p> <p>また、糖尿病を含む生活習慣病の重症化予防を図るため、医療機関への受診と治療継続を促すとともに、かかりつけ医と連携した保健指導を実施します。</p>	<p>⑬</p> <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の未受診者に対して、過去の受診履歴や傾向を分析し、受診勧奨通知等の受診率向上対策を行います。また、特定健康診査の受診機会の拡充のため、被用者保険との連携による集団健診を実施します。 ・特定保健指導の対象者に対して、オンライン面談の実施や土日の個別勧奨および保健指導を実施します。 ・糖尿病治療中断者を訪問し、治療状況を聞き取りのうえ受診勧奨を行います。 ・滋賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、ハイリスク者に対し、かかりつけ医と連携した保健指導を実施します。 <p>【成果目標】</p> <p>特定健康診査実施率達成目標 60%(令和4年度末実績 38.8%)</p>	<p>分野:健康 基本方針:医療保険制度の適正運用 施策:国民健康保険制度の運用</p>	